医師募集

在宅医療に協力してくださる
医師を募集しています。

MURAI CLINIC

医師派遣・ご勤務のお願い

平素は弊クリニックの活動にご理解とご協力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。この度は、医師派遣・ご勤務のお願いをするに当たり、私たちのクリニックの過去から現在、そして未来に向けた取り組みをご紹介させていただきます。

村井クリニックの開院から現在まで

村井クリニックの前身は 1978 年に設立された 19 床の有床診療所でした。初代院長の村井俊彦は京都府立医大を卒業後に東大整形外科大学院、自治医科大学講師を経て宇都宮に開業しました。当時は地域に整形外科開業医がまだ少なかったため、多数の外来患者さんに加え救急・入院のニーズにも精力的に応えていました。その後の制度の変化に伴い 1999 年に無床診療所となりましたが、2011 年に現院長が引き継ぐまで、整形外科診療を中心として地域医療を実践してきました。

2006 年より現院長の村井邦彦がクリニックに関わりました。現院長は 1995 年に東京医科歯科大学を卒業後、都立病院、大学病院で麻酔・救急・集中治療・ペインクリニック医として勤務していましたが、2006 年に家業継承を視野に自治医大大学院に入学し、東海大学で椎間板再生の研究に師事する傍らでペインクリニック診療を開始しました。

当初は、整形外科疾患の痛みの治療を通じて地域に貢献することがクリニックの存在意義と考えましたが、地域を知るにつれて生活を支える在宅医療と多職種連携が不可欠であることを知り、2010 年に在宅医療を開始しました。その後は、当院の特徴である地域連携を基盤に、2012 年に介護保険事業として通所リハビリテーション、2015 年より訪問リハビリテーションならびに地域連携推進室を開設し、現在では、医療・介護連携の先にある生活基盤の整備、地域包括ケアシステムの構築を目指した取り組みを実践しています。

沿革

昭和 53 年（1978）	有床診療所 村井整形外科 開院
平成元年（1989）	医療法人社団 宇光会 設立
平成 11 年（1999）	無床診療所となる
平成 18 年（2006）	ペインクリニック 開始
平成 22 年（2010）	在宅療養支援診療所 開設
平成 23 年（2011）	日本ペインクリニック学会 研修認定施設
平成 24 年（2012）	介護保険による短時間通所リハビリテーション 開設
平成 25 年（2013）	村井クリニックに名称変更
平成 27 年（2015）	介護保険による訪問リハビリテーション 開設
平成 27 年（2015）	地域連携推進室 設置
平成 28 年（2016）	言語聴覚士による訪問リハビリテーションを開始
平成 29 年（2017）	在宅訪問管理栄養士による訪問栄養指導を開始

現在の村井クリニック

クリニックの特徴は、外来診療と訪問診療の併存です。また、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・在宅訪問管理栄養士がいるのも特徴のひとつです。クリニックのロゴマークは2013年に「村井クリニック」に名称変更した際に作ったものですが、当地「宝木」をモチーフに、外来・訪問・リハビリテーションの3本の柱があることを示しています。

外来では、生活機能の維持と予防的な視点を重視して診療に当たっています。他の専門医療機関との連携による提案の幅広さ、エコーガイド下・レントゲン透視下の神経ブロックも特徴です。日本ペインクリニック学会の研修認定施設に指定されているため、1年以上の勤務経験と論文等の条件を満たせば、ペインクリニック専門医となることができます[注]。

訪問診療の理念は、病気や障害があっても安心して生活の場で過ごして頂けることです。ご自宅等に定期的に訪問し、診療、治療、薬の処方、療養上の相談、指導等をしています。今後のテーマは、地域包括ケアを実践しつつ、地域の支え合いと予防、人生の最終段階における意思決定を含めた住民意識の向上に関わってゆくことです。

リハビリテーションは、医療保険のほか介護保険による通所・訪問事業を行うことで、それぞれの人にとってその時々に最適な機能訓練を提案しています。スタッフが機能回復に関わり続けることで、患者さま・利用者さまの生き方と考え方が整理され、より積極的に有意義な生活を送って頂けることを期待しています。

ネットワークもクリニックの特徴です。近隣の急性期病院・回復期病院をはじめ、診療所、訪問看護ステーション、薬局、居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）、地域包括支援センター、社会福祉協議会、行政など、地域の多職種の皆様と連携をして、切れ目のないサービスを提供しています。

地域貢献活動としては、医療・介護職向けの講演活動、市民向けの健康講座等に力を入れており、「在宅緩和ケアとちぎ」、「リレー・フォー・ライフとちぎ」、「がん患者集会とちぎ」、「まちなかメディカルカフェ」、「在宅ケアネットワークとちぎ」の運営に参加しているほか、健康スポーツ・競技スポーツの支援を行っています。リハビリテーション部では「ポールウォーキング教室」、「しろくま先生の健康教室」、住民主体の体操教室の支援など予防活動のほか、サロン等の居場所と高齢者の役割の創出を目指しています。地域連携推進室では「ホームヘルスケアタウンうつのみや」（通称寺子屋ワーク）としてケアマネジャーを中心とした多職種のスキルアップと交流の場を提供しています。

注：申請には5年以上の会員資格の維持と学術集会の参加、論文、症例記録のほか、日本専門医評価・認定機構基礎領域の専門医を持たない場合は5年以上の勤務が必要です。詳しくは学会HP等をご参照ください。

MURAI CLINIC

村井クリニックの未来

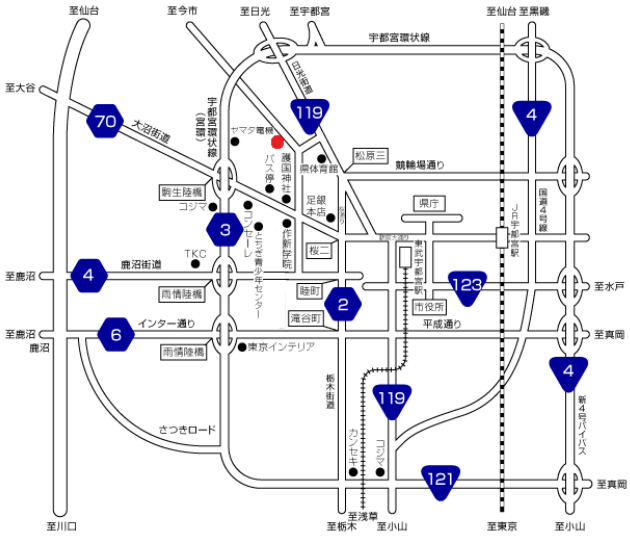
2015 年より院長は宇都宮市医師会の在宅医療・認知症担当理事を担当し、さらに宇都宮市が設置する「宇都宮市地域療養支援体制検討会議」議長、「地域包括支援センター連絡協議会」議長として宇都宮市の在宅医療と地域包括ケアを推進しています。特に医療の分野では、在宅医療の質と量の向上が宇都宮市単位では喫緊の課題です。宇都宮市医師会事業として、「在宅医療・介護連携推進事業」を実施し、宇都宮市と協働で地域の医療・介護連携と、地域包括ケアシステムの構築を目指します。

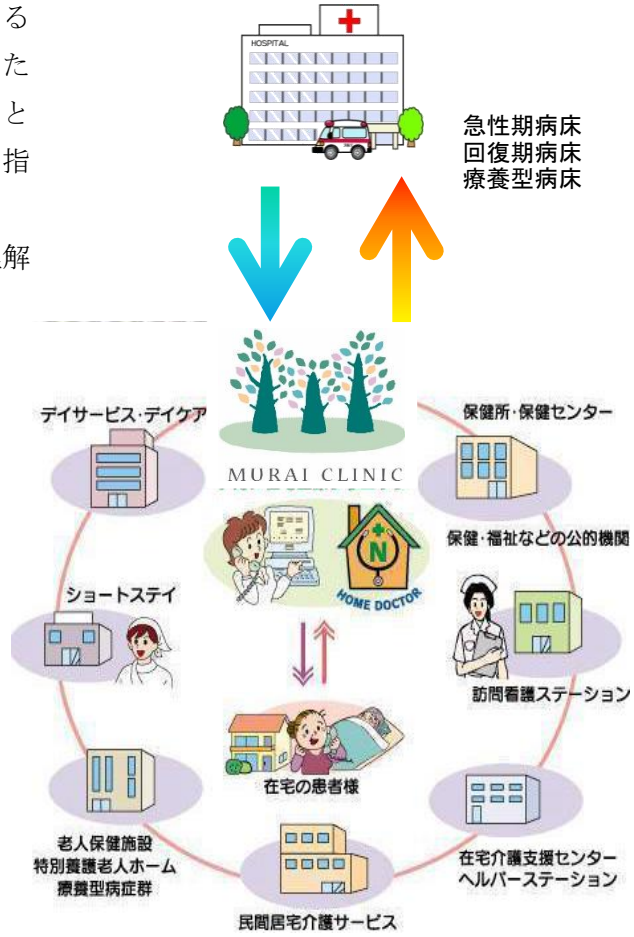
以上のような背景から、村井クリニックは良質な在宅医療の普及、生活を支える地域づくりに参加するこれからの開業医モデルの構築を目指しています。「**地域連携推進室**」の設置もその一環です。医師を支える職種として看護師、社会福祉士、ケアマネジャー、メディカルアシスタント等による在宅療養支援チームを構成し、在宅医療の経験の少ない医師でも迷わずに仕事ができる体制を構築します。また、当院は在宅医療を提供する医師の開業を支援します。地域の居場所づくりにも参加してゆきます。

結びに

私たちは、一緒に地域医療に取り組んでくださる医師を募集しています。ここで仕事をして良かったと言って頂けるクリニック、ここで仕事をすることで自らの人生が豊かになるクリニックの創造を目指して一層の努力を重ねて参ります。

村井クリニックの地域医療への取り組みにご理解とご協力をお願い申し上げます。





MURAI CLINIC

村井クリニック

女性医師募集

村井クリニックでは、結婚・出産・育児期の女性医師が働きやすい就業形態を提案することで、地域医療に力を貸して頂けると考えています。

勤務時間は自由です。お子様の保育施設や学校、ご家庭の都合等に合わせた働き方をご提案します。また、医師会や病院主催の各種講演会・研修会情報を提供することで、知識のアップデートを支援します。近隣病院における再研修の交渉もお手伝いいたします。

対象医師：診療科の限定なし。ただし、幅広い視点が必要。総合診療科・家庭医優遇。
診療内容：訪問診療・外来診療（整形外科、ペインクリニック、内科、もの忘れ外来）
雇用形態：非常勤（将来的に常勤可能）。勤務時間により社会保険可。
託児施設：提携、半額補助。

A 医師の場合：週 1 日 6 時間勤務を希望

A さんは他のクリニック・検診センターなどで非常勤として週 4 日働いていますが、現在休日にしている 3 日のうちの 1 日を新たに仕事に充てたいと考えています。小学生のお子さんが帰宅する午後 4 時頃には帰宅したいのですが、大丈夫でしょうか？

回答

はい、大丈夫です。9 時から 12 時 30 分の午前中の外来を担当していただくことも可能ですし、その後の時間を利用して訪問診療に行くこともできます。時間に応じて訪問件数を調整することができます。

B 医師の場合：毎日 5 時間勤務を希望

お子さんが保育園に通っている B さんは、10 時から 15 時までなら仕事をしたいと思いましたが、時間の条件に合う病院の仕事を見つけられませんでした。短時間でもできる仕事があるでしょうか？急な保育園からの呼び出しに対応できるでしょうか？

回答

短時間でも、ご都合に合わせた訪問件数をご用意します。給与は訪問件数によってご相談させていただきます。

急なお休みについては、患者さまへの訪問スケジュールを変更、または他の医師への交代をすることでカバーします。また、同じような事情を持つ複数の女性医師が活躍することで将来的にカバー体制を充実させてゆきたいと考えています。

医師募集

村井クリニックでは、地域医療にご理解のある常勤・非常勤医師を募集しています。

医療・介護を取り巻く環境は加速的に変化し、少子高齢化社会と多死社会を支える病床機能再編、地域包括ケアと在宅医療推進の流れは強く、2018 年より第 7 次医療計画と第 7 期介護保険事業計画がスタートします。

私たちの使命は、医療的ケアが必要な方がご自宅や介護施設でも過不足の無い医療を受けられ、そしてより有意義な時間を生活の場で過ごして頂けるように、地域の在宅医療の受け皿づくりを進めることであると確信しています。そのために、医師の協力が必要です。

まずはご見学・同行訪問へおいで頂けますことを、一同でお待ちします。

対象医師：診療科の限定なし。ただし、幅広い視点が必要。総合診療科・家庭医優遇。
診療内容：訪問診療・外来診療（整形外科、ペインクリニック、内科、もの忘れ外来）
雇用形態：常勤・非常勤
（非常勤の場合、曜日・時間帯のご相談をさせて頂く場合がございます。）

ご見学・同行訪問を歓迎します

私たちは、在宅医療へのご理解を頂くため、そして在宅医療に参加してくれる医師を増やすために、クリニックのご見学のほか、患家への同行訪問をお勧めしています。生活の中の医療、治し支える医療を知っていただけたら幸いです。

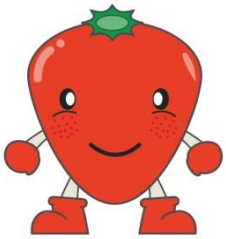
- **在宅医療の現場の体験**
- **在宅医療に関わる書類作成の方法**
- **患者さま・ご家族との関わり**
- **医療・介護連携、多職種連携**
- **地域の居場所づくり、生活支援体制整備**

ご連絡先

〒320 - 0061
栃木県宇都宮市宝木町 1 丁目 2589 番地
村井クリニック内
地域連携推進室　事務部長　長谷川顕久
e-mail: hasegawa.muraic@juno.ocn.ne.jp
Tel: 028-643-0332

MURAI CLINIC

平成 30 年 1 月作成　第 2 版



MURAI CLINIC

村井クリニック

http://www.murai-opc.org/

https://www.facebook.com/kuni.murai/